

平成21年8月期 第3四半期決算短信

平成21年7月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エヌ・ピー・シー
 コード番号 6255 URL <http://www.npcgroup.net>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画情報部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年7月15日
 配当支払開始予定日

(氏名) 隣 良郎
 (氏名) 佐藤 寿

TEL 03-5615-5069

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年8月期第3四半期の連結業績(平成20年9月1日～平成21年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年8月期第3四半期	12,047		2,800		2,806		1,657	
20年8月期第3四半期	6,560	19.8	1,056	19.7	1,078	24.6	638	25.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年8月期第3四半期	189.18	178.54
20年8月期第3四半期	78.56	74.14

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年8月期第3四半期	13,679	7,540	55.1	860.49
20年8月期	14,191	5,942	41.9	678.14

(参考) 自己資本 21年8月期第3四半期 7,540百万円 20年8月期 5,942百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年8月期		0.00		4.00	4.00
21年8月期		0.00			
21年8月期 (予想)				8.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年8月期の連結業績予想(平成20年9月1日～平成21年8月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	54.7	2,627	89.5	2,597	81.5	1,547	85.3	176.57

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 有
以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年8月期第3四半期	8,762,560株	20年8月期	8,762,560株
期末自己株式数	21年8月期第3四半期	73株	20年8月期	株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年8月期第3四半期	8,762,549株	20年8月期第3四半期	8,121,392株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また「四半期連結財務諸表規則」に従い、四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成20年秋の米国の金融危機に端を発した世界的な金融市場の混乱や為替相場の変動が実体経済に悪影響を与え、企業の業績や設備投資が急速に悪化したことに加え、一層の個人消費の落ち込みにより、景気後退が鮮明になりました。

このような状況下、当社グループの主力事業である太陽電池製造装置事業におきましても、前連結会計年度と比較して引き合い数が若干弱含むなどの影響が出ております。しかしながら、技術力や実績のある太陽電池メーカーでは依然、事業が堅調に推移していることから、景気後退による太陽電池の最終需要の落ち込みは一時的なものとして予測されます。さらに、各国における新エネルギーの電気の利用を促進する制度等を追い風に、太陽電池市場の普及は地域的な広がりを見せてきております。これらのことにより、地域的に時間差を伴うものの、製造装置市場は早ければ今秋あたりから徐々に回復基調になるものと予想しております。

当社では、上述のように市場が足踏み状態にある中で、市場が回復基調に転じる時に備え、生産能力の増強と生産の効率化に取り組むとともに、更なる製造原価低減に鋭意努力することで、事業体質の改善及び強化を推進しております。

一方、真空包装機事業におきましては、前連結会計年度に引き続き、これまで主力であった食品業界が縮小していることから産業部品・電子部品業界等へと販売先の多角化を図るとともに、顧客の要請に沿った技術・製品開発に注力し、新分野への特殊真空包装機の販売を推進してきました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は12,047,745千円（前年同期比183.6%）、営業利益は2,800,530千円（同265.0%）、経常利益は2,806,020千円（同260.1%）、四半期純利益は1,657,683千円（同259.8%）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

(1) 太陽電池製造装置事業

太陽電池製造装置事業における売上高は、松山第三工場の設置・拡張により国内外の太陽電池メーカーの旺盛な需要に応えることができた結果、11,689,382千円（前年同期比189.6%）となりました。また、生産の効率化、製造要員の熟練化及び原材料コストの削減努力等により、製造原価の大幅な改善が達成された結果、営業利益は3,291,366千円（同233.9%）となりました。

(2) 真空包装機事業

真空包装機事業における売上高は、世界的景気後退の影響で主力の食品業界以外への売上が低迷した結果、358,363千円（前年同期比90.8%）となりました。仙台営業所の廃止等による業務効率化及び製造コスト削減努力の結果、営業利益は8,392千円（同177.9%）となりました。

(注) 当第3四半期と前年同四半期では適用される会計基準が異なっておりますが、参考情報として前年同期比を記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は13,679,203千円となり、前連結会計年度末に比べ512,590千円減少しました。主な要因は以下のとおりであります。

① 資産

流動資産につきましては9,859,532千円となり、前連結会計年度末に比べ1,475,120千円の減少となりました。これは主として、現金及び預金の増加113,268千円があった一方で、仕掛品の減少1,545,523千円があったことによるものであります。固定資産につきましては3,819,670千円となり、前連結会計年度末に比べ962,529千円の増加となりました。これは主として、松山第三工場の増設により建物及び構築物が822,434千円増加したことによるものであります。

② 負債

負債につきましては6,139,182千円となり、前連結会計年度末に比べ2,110,328千円の減少となりました。これは主として、未払法人税等の増加446,879千円があった一方で、前受金の減少1,479,037千円、支払手形及び買掛金の減少977,341千円があったことによるものであります。

③ 純資産

純資産につきましては7,540,021千円となり、前連結会計年度末に比べ1,597,737千円の増加となりました。これは主として、利益剰余金の増加1,622,633千円によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の期末残高は、前連結会計

年度末に比べ2,363,401千円減少し、2,515,870千円となりました。主な要因は以下のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は前連結会計年度より704,957千円減少し、1,334,851千円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益を2,816,410千円計上し、たな卸資産の減少1,506,963千円の収入があった一方で、前受金の減少1,477,851千円、仕入債務の減少972,944千円があったことによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により使用した資金は前連結会計年度より2,152,004千円増加し3,633,697千円となりました。これは主として、定期預金の預入による支出2,603,012千円及び有形固定資産の取得による支出1,072,195千円があったことによるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用した資金は34,979千円(前連結会計年度は3,164,980千円の収入)となりました。これは主として、配当金の支払34,657千円があったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年8月期(平成20年9月1日～平成21年8月31日)通期連結業績につきましては、工場の拡張により受注案件が順調に売上計上されるものの、賞与等の期末特有の経費発生を予測しており、売上高14,500百万円(前期比154.7%)、営業利益2,627百万円(同189.5%)、経常利益2,597百万円(同181.5%)、当期純利益1,547百万円(同185.3%)を見込んでおります。

なお、上記数値は、平成21年6月29日に公表しております「平成21年8月期業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」の内容と同一であります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

I 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費を期間按分して算定する方法によっております。

II 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

III たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原材料については月次総平均法による原価法から月次総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)に製品、仕掛品及び貯蔵品については個別法による原価法によっておりましたが、製品、仕掛品及び貯蔵品は個別法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この変更による損益に与える影響はありません。

また、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、受注契約に基づく仕掛品については、受注損失引当金により対応しております。

- ③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。
この変更による損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,146,411	5,033,142
受取手形及び売掛金	1,382,083	1,349,714
商品及び製品	98,179	138,499
仕掛品	2,616,594	4,162,118
原材料及び貯蔵品	140,184	70,960
繰延税金資産	118,704	80,446
その他	364,060	505,162
貸倒引当金	△6,685	△5,389
流動資産合計	9,859,532	11,334,653
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,937,894	1,064,587
減価償却累計額	△125,638	△74,766
建物及び構築物(純額)	1,812,255	989,821
土地	1,429,414	1,429,414
その他	395,240	275,008
減価償却累計額	△158,144	△116,362
その他(純額)	237,096	158,646
有形固定資産合計	3,478,766	2,577,882
無形固定資産	125,511	86,051
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,741	4,548
その他	258,598	246,858
貸倒引当金	△44,947	△58,199
投資その他の資産合計	215,392	193,207
固定資産合計	3,819,670	2,857,140
資産合計	13,679,203	14,191,794

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,226,145	4,203,487
未払法人税等	917,486	470,606
前受金	1,670,306	3,149,343
受注損失引当金	32,656	8,301
その他	291,145	416,418
流動負債合計	6,137,738	8,248,156
固定負債		
繰延税金負債	1,443	1,353
固定負債合計	1,443	1,353
負債合計	6,139,182	8,249,510
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,158,002	2,158,002
資本剰余金	2,080,416	2,080,416
利益剰余金	3,331,587	1,708,954
自己株式	△321	—
株主資本合計	7,569,685	5,947,373
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△2,140	△10,030
為替換算調整勘定	△27,523	4,940
評価・換算差額等合計	△29,663	△5,089
純資産合計	7,540,021	5,942,283
負債純資産合計	13,679,203	14,191,794

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年5月31日)
売上高	12,047,745
売上原価	7,835,329
売上総利益	4,212,415
販売費及び一般管理費	1,411,885
営業利益	2,800,530
営業外収益	
受取利息	13,911
受取配当金	2
その他	12,895
営業外収益合計	26,808
営業外費用	
支払利息	171
支払手数料	9,385
為替差損	11,586
その他	175
営業外費用合計	21,319
経常利益	2,806,020
特別利益	
貸倒引当金戻入額	10,389
特別利益合計	10,389
税金等調整前四半期純利益	2,816,410
法人税、住民税及び事業税	1,199,371
法人税等調整額	△40,644
法人税等合計	1,158,726
四半期純利益	1,657,683

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成21年5月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,816,410
減価償却費	116,766
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6,503
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	24,354
受取利息及び受取配当金	△13,913
支払利息	171
売上債権の増減額 (△は増加)	△52,011
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,506,963
仕入債務の増減額 (△は減少)	△972,944
前受金の増減額 (△は減少)	△1,477,851
その他	136,067
小計	2,077,509
利息及び配当金の受取額	10,821
利息の支払額	△171
法人税等の支払額	△753,308
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,334,851
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△2,603,012
定期預金の払戻による収入	126,342
有形固定資産の取得による支出	△1,072,095
無形固定資産の取得による支出	△60,255
その他	△24,677
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,633,697
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△321
配当金の支払額	△34,657
財務活動によるキャッシュ・フロー	△34,979
現金及び現金同等物に係る換算差額	△29,576
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,363,401
現金及び現金同等物の期首残高	4,879,272
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,515,870

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年9月1日至平成21年5月31日)

	太陽電池製造 装置事業 (千円)	真空包装機 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	11,689,382	358,363	12,047,745	—	12,047,745
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,689,382	358,363	12,047,745	—	12,047,745
営業利益	3,291,366	8,392	3,299,758	△499,227	2,800,530

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、事業内容を勘案して次のとおり区分しております。

- (1) 太陽電池製造装置事業——太陽電池製造装置の開発製造及び販売に関する事業
- (2) 真空包装機事業——真空包装機の開発製造及び販売に関する事業

2. 各区分に属する主要な製品

- (1) 太陽電池製造装置事業の主要製品
セルテスター、セル自動配線装置、真空ラミネーター、モジュールテスター、
薄膜モジュール製造ライン等
- (2) 真空包装機事業の主要製品
小型卓上式真空包装機、テーブル式真空包装機、連続自動式真空包装機等

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年9月1日至平成21年5月31日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	11,847,820	107,528	92,396	12,047,745	—	12,047,745
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	171,823	149,282	183,629	504,735	△504,735	—
計	12,019,644	256,810	276,025	12,552,480	△504,735	12,047,745
営業利益	3,180,200	82,497	42,321	3,305,019	△504,488	2,800,530

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域
北米：米国
欧州：ドイツ

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年9月1日 至 平成21年5月31日）

	欧州・アフリカ	アジア	北中南米	その他	計
I 海外売上高（千円）	2,082,328	3,971,563	5,400,572	4,764	11,459,228
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	12,047,745
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	17.3	33.0	44.8	0.0	95.1

（注） 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する国又は地域

(1) 欧州・アフリカ：ドイツ、フランス、スペイン、チェコ、ハンガリー、オランダ、南アフリカ等

(2) アジア：中国、韓国、台湾、タイ、インド、フィリピン等

(3) 北中南米：米国、メキシコ等

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間

科目	前年同四半期 (平成20年8月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	6,560,435
II 売上原価	4,473,749
売上総利益	2,086,686
III 販売費及び一般管理費	1,029,941
営業利益	1,056,744
IV 営業外収益	
1. 受取利息	6,790
2. 受取配当金	79
3. 投資有価証券売却益	2,691
4. 解約保険料	41,861
5. その他	1,897
営業外収益合計	53,321
V 営業外費用	
1. 支払利息	12
2. 支払手数料	4,532
3. 為替差損	843
4. 株式交付費	25,483
5. その他	548
営業外費用合計	31,420
経常利益	1,078,644
税金等調整前四半期純利益	1,078,644
法人税、住民税及び事業税	470,700
法人税等調整額	△30,081
法人税等合計	440,618
四半期純利益	638,025

(2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書
前第3四半期連結累計期間

	前年同四半期 (平成20年8月期 第3四半期)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,078,644
減価償却費	61,006
貸倒引当金の増減額(△は減少額)	7,629
賞与引当金の増減額(△は減少額)	△6,470
役員賞与引当金の増減額(△は減少額)	△10,000
受取利息及び受取配当金	△6,870
支払利息	12
解約保険料	△41,861
株式交付費	25,483
売上債権の増減額(△は増加額)	△699,496
たな卸資産の増減額(△は増加額)	△1,691,691
仕入債務の増減額(△は減少額)	1,774,963
前受金の増減額(△は減少額)	1,377,350
その他	△87,508
小計	1,781,192
利息及び配当金の受取額	3,667
利息の支払額	△12
解約保険料の受取額	41,861
法人税等の支払額	△319,017
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,507,691
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	248,225
定期預金の預入による支出	△2,042,189
有形無形固定資産の取得による支出	△1,443,383
投資有価証券の取得による支出	△299
投資有価証券の売却による収入	12,384
その他	△43,230
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,268,493
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	3,206,080
新株予約権の権利行使による収入	1,008
株式の発行による支出	△25,483
配当金の支払額	△23,325
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,158,279
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,750
V 現金及び現金同等物の増加額	1,389,727
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,155,698
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	2,545,425

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成19年9月1日至平成20年5月31日)

	太陽電池製造 装置事業 (千円)	真空包装機 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,165,759	394,675	6,560,435	—	6,560,435
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,165,759	394,675	6,560,435	—	6,560,435
営業費用	4,758,670	389,959	5,148,629	355,060	5,503,690
営業利益	1,407,088	4,716	1,411,805	△355,060	1,056,744

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、事業内容を勘案して次のとおり区分しております。

- (1) 太陽電池製造装置事業——太陽電池製造装置の開発製造及び販売に関する事業
- (2) 真空包装機事業——真空包装機の開発製造及び販売に関する事業

2. 各区分に属する主要な製品

- (1) 太陽電池製造装置事業の主要製品
セルテスター、セル自動配線装置、真空ラミネーター、モジュールテスター、
薄膜モジュール製造ライン等
- (2) 真空包装機事業の主要製品
小型卓上式真空包装機、テーブル式真空包装機、連続自動式真空包装機等

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成19年9月1日至平成20年5月31日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	6,275,322	88,711	196,400	6,560,435	—	6,560,435
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	211,675	91,488	105,121	408,285	△408,285	—
計	6,486,998	180,199	301,521	6,968,720	△408,285	6,560,435
営業費用	5,136,909	143,463	261,495	5,541,868	△38,178	5,503,690
営業利益	1,350,089	36,736	40,026	1,426,851	△370,106	1,056,744

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域

- 北米：米国
- 欧州：ドイツ

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年9月1日 至 平成20年5月31日)

	欧州・アフリカ	アジア	北中南米	その他	計
I 海外売上高 (千円)	1,646,078	1,892,659	2,411,545	17,994	5,968,278
II 連結売上高 (千円)	—	—	—	—	6,560,435
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	25.1	28.8	36.8	0.3	91.0

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する国又は地域

(1) 欧州・アフリカ：ドイツ、フランス、スペイン、チェコ、ハンガリー、オランダ、南アフリカ等

(2) アジア：中国、韓国、台湾、タイ、インド、フィリピン等

(3) 北中南米：米国、メキシコ等

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成21年5月31日)
太陽電池製造装置事業 (千円)	9,689,313
真空包装機事業 (千円)	378,206
合計 (千円)	10,067,520

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第3四半期連結累計期間の受注状況を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
太陽電池製造装置事業	7,555,177	7,322,880
真空包装機事業	361,751	47,088
合計	7,916,928	7,369,969

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成21年5月31日)
太陽電池製造装置事業 (千円)	11,689,382
真空包装機事業 (千円)	358,363
合計 (千円)	12,047,745

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。